

# DD NEWSLETTER

NO. 6

The Center for Southeast Asian Studies

Kyoto University

1

## { 6-1 } N S B 調査の現状と設計変更

1988, 7, 28 現在

5戸の detail, それを含めた20数戸の daily survey を始めたものの過重労働で続けられたい。すなわち、学生2人を専任しても、データのチェックが追付かない。2日2晩にわたる検討の結果、5戸だけの調査とすることに決定。その内容は、毎日の農家記入票の回収とチェック（家族全員の24時間行動表、日々の簿記、農業生産インプット、アウトプット表）と戸外の農作業の観察と記録とからなる。後者は水田とスアーンだけとし、畑での作業は前者の記録だけに頼ることとする。これまでの未チェックの回収済票の整理が済み、かつ、田植のピークが済めば、学生1人 (Wasi da) を専任とすることでも十分ではないかと思われる。

社会班の以上のような戦線縮小にも拘わらず、農学系の調査は N S B 全域を対象とする。すなわち、水、農暦、生育、等（将来は収量）

をNSB内全筆を対象として続行する。(Wiset担当) ただし、NSB農家の経営するSuanとRaiの調査は、detailの5戸分に限り、これ以外のサンプルSuan; raiは、NSBにとられず、農学的立場から適当と思われるサンプルを選ぶ。DN、DHEを含めた、全NSB農家の社会、経済的調査は、これまでの計画を一応白紙に戻し、新に考え、近日中に始める。舟橋氏に全部オッカブせることは避ける。

detail 5戸の概略は次のとおりである。

S.No - H.No

1. 1 - 2 [redacted] 75才、同居の娘婿夫婦が農作業に従事。
2. 42 - 21 [redacted] 40才、妹と2人のみの世帯
3. 44 - 156 [redacted] 37才、DHに住むひいばあさんの水田(NSB)を耕作。
4. 72 - 57 [redacted] 54才、村内で商店経営 + NEACへ通勤。自作農、隣に住む娘の世帯に本年農地を分割

SN6 - HW6

5.174-106

48才, 1983, 7.

21. 新村長に選ばれる。息子の1人は学校教員

[6-2] 各人別調査の進捗概況と予定

星川

① NSB全体の湛定量収支測定 (助手 Wiset) 河野引継予定

② 水田周遊コース沿の水文観察 河野引継予定

宮川

① NSB全体の農暦、生育調査 (助手 Wiset)

② 水田周遊コース沿の農暦、生育

③ 個別農作業の詳細な観察と記録

④ スア調査、14園の作業観察記録 (助手 Samkiat)

(予定) D.D全スア分布、上下流による差、隣接村スア。

口羽

① DD村世帯主総皆面接調査の質問票は日本で作成。7月18・19日BKにてProf. Prasertと討議、若干修正。

② 7月21・22・23日、武邑、林、助手 Pakornと協議、更に部分的に修正。24日から訪問面接開始。29日現在15戸面接完了。

③ 1日2.5戸の速度はこれと、もう少し早くなりたい。目下少なくとも100戸の面接完了を口羽の帰国まで済ませたい。残り82戸は須羽君に引き継いでもらう予定。

④ Computerへのinputは口羽の帰国後にやる。そのため8月10日頃、open answerの回答のコード化などをし、須羽君に連絡の予定。

⑤ Prof. Prasertは8月中2度（各5日間位）、来村予定。彼には、村の開発に関する県、郡、タンボン、村レベルの活動、村内の諸集団活動などを調査してもらうよう準備を進めている。

⑥ 口羽は、9月4日帰国まで、武邑の家族

史、村の宗教に関する intensive 聴き取り調査細目をも検討する予定。

⑦ NSB の社会班の世帯主面接調査内容は、2・3日中に検討の予定。

⑧ 村内世帯主の悉皆面接調査では、1 昨年不明であった部分が明らかにになり、また、新たに気づいた点もあり、かなりの成果が期待できそう。特に、近親が主なお祭り（ブン）の時に年長者または親元の家で、米、ココナツ、バナナ、サトウ、金を持ち寄り（maa-hoom-kan）、ケーキを作り、共食し、bun を share するという発想があるのを発見。

これも tham bun といっている。近親間の連帯を強化している宗教、社会的側面を見出したように思える。

⑨ 7月21日は、前村長 [REDACTED] の若干の不正による辞任後の村長選挙があり、

(174-106) [REDACTED], (110-541)

[REDACTED], (94-16) [REDACTED]

が立候補、得票数 133, 128, 118 票の近差で

■ が当選。

## 武邑

① 7月5日入村後、7月末までは、NSBのDaily Activity Surveyを軌道に乗せる事に専念する覚悟で来たが、今だに試行錯誤の連続である。この調査によって各専門分野がどのようなDataを得る必要があるのか、近日全員で、総合的に検討の結果、更に、調査のデザインを考えた方が必要があるように思われる。

② NSB、D.A.SのSample 5戸の世帯調査も、いまだ行ってないが、これも全員の要望をきいて、あらかじめ作成して来た調査票に追加し、5戸のSampleから調査をはじめ次第に拡大する予定。当初の予定では、舟橋代に相当部分を依存する予定であったが、今できる限り、調査しておくことが望ましいと思われる。そのために少しづつ、現時点での問題点を明らかにし、調査して

れまう予定。

③ なるべく早く NSB, Daily Activity Survey  
を軌道に乗せ家族史の調査に入る予定。

尚、NSB調査には現在2名のアシスタント  
がっているが、田植が終るころには、  
1名でこの調査を続行できるようにしたい。  
しかし、この調査に相当の意味があること  
が明らかにされれば、アシスタントの人員に  
ついては再考が必要であるように思われる。

## 宮崎

当初NSBに関連するD.D, D.N, D.H, 各村  
の農家経営分析をする予定で入村しました。

しかし、経済調査については、①D.D.村の  
GVP (General Village Products) を推計する。

②D.D.村の農家経営分析に的をしぼるため  
に、調査対象農家をD.D.村の農家に限定し、  
階層区分による調査農家のサンプリングを  
行うことにしました。経済調査の目標と進  
捗状況は以下の通りです。

① 調査の対象農家は、母集団176戸から25%の抽出率で、44戸の農家を選定する。現在、NSBに関連するD.D.村の農家15戸と2年前に行った経済調査の対象農家から15戸を選定しており、残りの14戸については、サンプリング法に基づいて選定する予定。

② 7月29日現在10戸の農家について調査完了。調査時間が1戸当り3時間かかり、チェック時間も含めて1日1.5戸のペースで現在調査進行中。経済担当学生(Saiyou)も調査に慣れて来ており、1日2戸のペースで高める予定。

③ 作目別に経済調査を行っていますが、野菜、賃金、小売商の収入割合が極めて高い。昨年と今年の畑作物については、キャッサバが減り、陸稻が増加しているなどの特徴が目につきます。

## 福井

入村以来間もないので、現状把握にせよと

の段階。原則として、ルーティンミニマムに抑え、考えながら ad hoc 調査と可る割合をできるだけ多くするように努力するつもり。さしあたり、NSB 調査の再編成、畑調査の設計などが主。それでも可暇を惜しんでデニスするよう努力中。

### [6-3] 生活状況について

学生たちが全買土日に休みをとる、女中も休みがほしいと続かばい、我々も「たおれたのちやむ」式は好ましくはないなどの配慮から、土日を休日とすることに決定。土曜朝食、日曜夕食は村で食べるが、その間は食事なしとする。

生活費は入村一時負担金 ¥1000.- ¥200/日と係、マイ車が様子次第では値上げもあり。

8月12日(金) 入村あいのパーティーの予定

7月29日(土) 林君高熱のため入院、デング熱ではと心配したがどうやら流感らしい。参加者全員、一番安くて良いから疾病保険に加入すること。